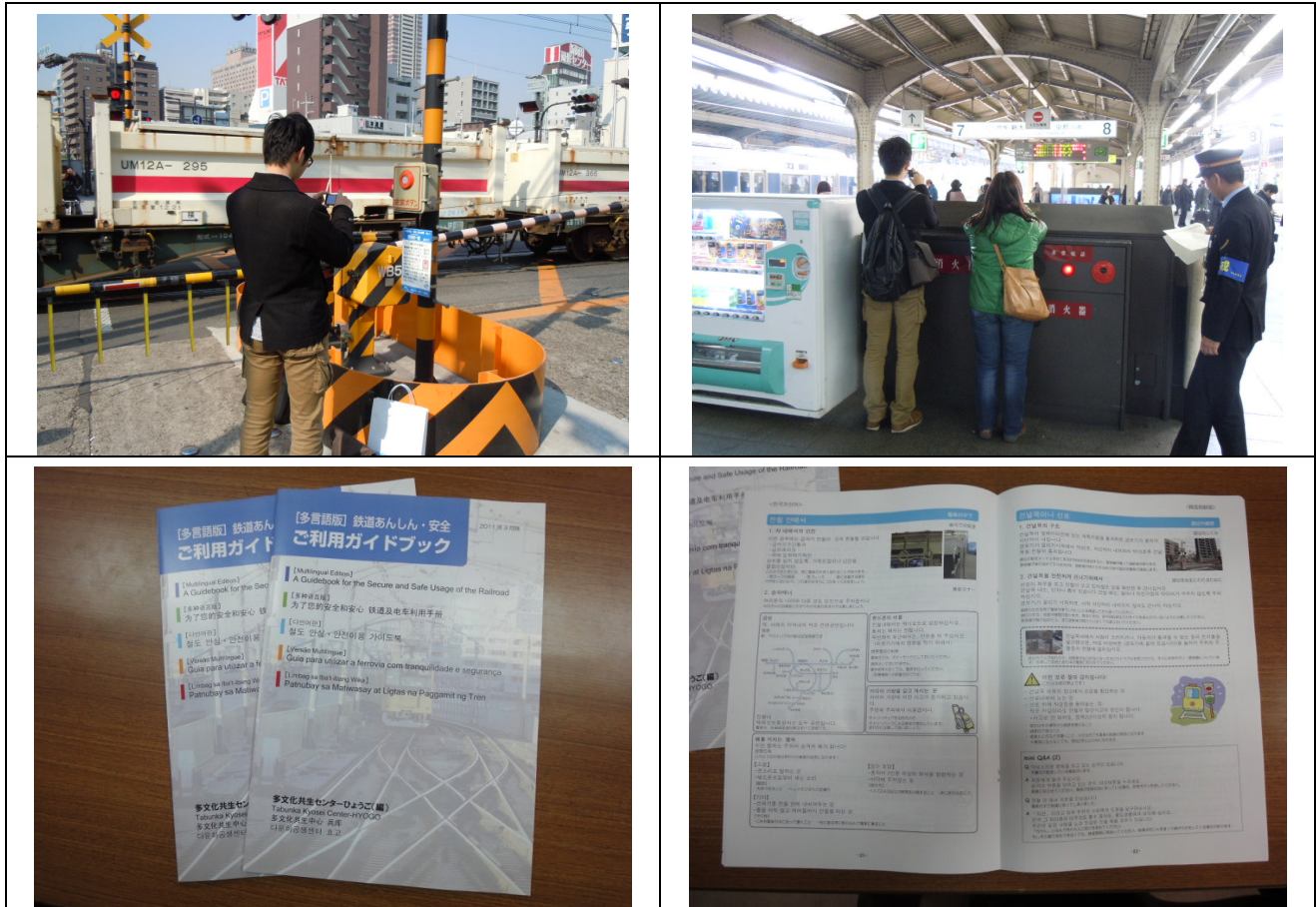


活動助成（2009年度募集）活動実績報告書

団体名	多文化共生センターひょうご
活動テーマ	「多言語版鉄道あんしん利用ガイドブック」の作成



地域に在住する外国人も安心して鉄道を利用できるように、多言語での利用ガイドブックを作成しました。言語は英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語の5言語です。

内容は、安全に乗車できるためのさまざまな取り組み、きっぷの買い方、電車の中での注意事項、踏切など周辺環境についての説明のほか、鉄道利用に特有の用語や鉄道利用時の疑問点に関する Q&A コラムを掲載しています。内容選定にあたっては、地域に在住する外国の方に聞き取り調査を行ない、できるだけニーズに沿ったものを選ぶように工夫しました。

翻訳は主に地域在住の外国人翻訳者が担当しましたが、「乗り入れ」や「運転見合わせ」など、辞書には載っていないけれどもよく使うことばがあり、そもそも「電車に乗る」ということが一般的ではない国の場合は適当な訳語がないなどの問題点が浮上したため、「ミニ用語集」を作ることで理解を促すようにしました。

駅や公共施設に設置して使っていただけるよう、紙質にもこだわり、少し大きめの A4 サイズで作っています。また、写真を多用して、わかりやすく美しい冊子になるよう心がけました。各言語での説明の下に日本語訳がついていますので、外国語のわからない方でも説明可能です。

地域や駅などで、この冊子が役に立ち、外国から来られた方がより心地よく鉄道利用ができるようになれば幸いです。

なお、作成にあたっては、JR 西日本の社員の方から安全に対する取り組みの現状やこれまでの経験を伺ったり、掲載する写真の撮影にも立ち会っていただく等、多方面で協力をいただきました。ありがとうございました。